

# 道徳教育と学級活動の指導計画

～学級経営の中心となる2つの教育活動～ 平成25年9月3日発行

担任教師の学級経営の姿勢が最も顕著に表れる教育活動は、「道徳の時間」を“要”とする道徳教育と、特別活動の中でも学級を単位として活動を行う学級活動の2つです。

道徳、学級活動とも、それぞれ週に1回ずつ、我が国の小・中学校の学級の時間割に等しく確保された貴重な1コマであり、人としての生き方を学んでいくための大切な時間です。この2つは、学級経営の両輪と言ってよいでしょう。

学習指導要領解説（平成20年）の道徳編では「学級における指導計画」、特別活動編では「学級ごとの学級活動の年間指導計画」、それぞれの作成を求めています。

あなたは学級担任として、どのような計画を立てて実践していますか？

2つの教育活動の計画の作成と活用にあたっての要点をまとめてみました。



## 1 道徳教育 学級における指導計画

### ▶道徳教育 学級における指導計画

学校や学年の道徳教育の方針を受け、道徳教育の全体計画に基づき、基本的に学級担任の教師が創意工夫して作成する指導計画（学習指導要領解説道徳編第4章第4節）

#### (1) 学級における指導計画の内容

※小・中学校学習指導要領解説道徳編を合わせて表現・順番等を変えてまとめています

- ① 基本的把握事項
  - ア 学級における児童生徒の道徳性の実態
  - イ 学級における児童生徒の願い、保護者の願い、教師の願い
  - ウ 学級における道徳教育の基本方針
- ② 具体的計画事項
  - ア 教師と児童生徒の信頼関係・児童生徒相互の望ましい人間関係を築く方策
  - イ 各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動における道徳教育の概要
  - ウ 学級生活における豊かな体験活動の概要
  - エ 生徒指導にかかわる道徳教育の視点
  - オ 学級における道徳教育に関する環境整備の方針
  - カ 基本的な生活習慣に関する指導の方針
  - キ 他の学級・学年との連携にかかわる内容と方法
  - ク 家庭・地域社会等との連携、授業公開等にかかわる内容と方法
  - ケ その他（重点的な指導に関する具体的計画、評価計画など）

#### (2) 学級における指導計画作成上の創意工夫・留意点

- ① 学級担任教師の個性を重視し、生き生きとした学級経営を行う基盤となるよう心掛ける。
- ② 道徳教育の成果は、学級における日常生活の中に反映されるという認識に立ち、道徳の目標や内容に示される道徳性の具現化に努める。
- ③ 学校の各教師が相互に見ることができるようになるとともに、保護者にも示して理解を求めようとする。
- ④ 児童生徒の自主的、主体的な態度を伸ばすよう特に配慮する。
- ⑤ 他の学級や学年、保護者や地域との交流を積極的に図る。
- ⑥ 他の教師や保護者などの意見を取り入れ、改善したり付け加えたりする。
- ⑦ 網羅的になることを避け、精選した内容にする。
- ⑧ 基本的な内容を分かりやすく図式化し、児童生徒や保護者も記述できる部分を設けるなど、学級や家庭で日常的に活用できるようにする。

道徳教育の「学級における指導計画」は、学校における道徳教育を効果的に行い充実させるために、学校や学年の道徳教育の方針を受け、学級担任が創意工夫して作成するものです。学校全体の道徳教育全体計画を、児童生徒や学級の実態に応じて具体化し、学級において教師や児童生徒の個性を生かした道徳教育を進める指針となります。作成に当たっては、以下のような点に留意します。

- ① 学校全体の道徳教育の具現化を図ること
- ② 学級担任それぞれの持ち味を生かすこと
- ③ 児童生徒や教師、保護者の願いを反映させること
- ④ 豊かな体験活動が位置付けられていること
- ⑤ 児童生徒や保護者も記述できる部分を設け、学級や家庭で日常的に活用できるように工夫すること



**【単独の指導計画例】** 道徳教育の学級における指導計画は、学校によって、単独で作成する場合と、学級経営案の一部として作成する場合があります。

### 平成〇〇年度 第〇学年〇組 道徳教育 学級における指導計画

小・中学校における一般的な指導計画の形式例を示しました。

担任 教諭 ○○ ○○  
児童生徒氏名 ○○ ○○

<b>児童生徒の道徳性の実態</b> ◆明るく元気である。 ◆男女の仲がよい。 ◆積極的に行動するが、思慮に欠ける面もある。 ◆何事も辛抱強くやり遂げようとする意欲が弱い。 ◆時・場・相手に応じたあいさつや言葉遣いができず、相手を傷つけてしまうことがある。	<b>学級目標</b> ○目標をもって学習する ○友だちを思いやる ○我慢強い	<b>教師の願い</b> ◆自ら考え、判断し、表現できるようになってほしい ◆根気強く、最後までやり遂げるようになってほしい。
<b>目指す学級像</b> ○何事にも目標をもって取り組む学級 ○互いに支え合い、認め合う学級	<b>道徳教育の基本方針</b> 道徳の時間を要として、様々な活動を通して、自他の個性を尊重し、互いに助け合い、支えられていることに感謝の念をもたせる。	<b>保護者の願い</b> ◆誰に対しても差別をせず、優しくできる子になってほしい。 ◆規則正しく、けじめのある生活を送ってほしい。
<b>目指す児童生徒像</b> ○豊かな感性をもち、思いやりのある児童生徒 ○自他のよさを知り、伸ばそうとする児童生徒	<b>道徳の時間の方針</b> ○各教科等で育成した道徳性を補充・深化・統合するよう、児童生徒に自分の生き方を考えさせる時間とする。 ○感動を与えるような魅力的な教材の収集に努め、互いに考えを深める時間とする。	<b>児童生徒の願い</b> ◆友だちと仲良くし、楽しい学校生活を送りたい。 ◆目標をもち、努力して自分を高める人になりたい。

各教科等での道徳教育	生徒指導の視点	豊かな体験活動の計画	教育環境の整備計画
総合的な学習の時間で「生きる」をテーマに共通学習・課題解決学習を進め、生命を尊重する心を育てる。	気持ちのよいあいさつや言葉遣いを身に付け、思いやり、潤いに満ちた落ち着いた生活を送る体制を整える。	ボランティア活動や学校行事を通して互いのよさを気付かせ、思いやりの心をもって他者を大切にすることを育てる。	動植物の飼育や栽培の活動を通して、生命の尊さに気付かせる。
基本的生活習慣の指導	他学級・学年との連携	家庭・地域との連携	授業公開
「規律ある態度」や「早寝・早起き・朝ご飯」の取組を通して、気持ちのよい生活を送ることの大切さに気付かせる。	運動会や文化祭などの取組を通して交流を図り、互いのよさを認め協力し合いながら、自他を尊重する態度を養う。	学級通信や保護者会等を通して、生命尊重に係る学級の取組状況を伝え、保護者や地域の方とともに考える機会を設定する。	道徳の授業公開で家族愛4-(5)を取り上げ、保護者に参加していただき、一緒に授業をつくり、家族についての考えを深める。

家庭での取組	担任から	第1学期	
		第2学期	
		第3学期	

【学級経営案の一部として作成する指導計画例】 ※朱書部分

平成〇〇年度 第〇学年〇組 道徳教育 学級経営案

担任 教諭 〇〇 〇〇

1 教育目標

学校教育目標	学校によって、このように学級経営案の中に「道徳教育の学級における指導計画」を盛り込む形式例も見られます。
学年目標	
学級目標	
学級の実態	

4 道徳教育の学級における指導計画

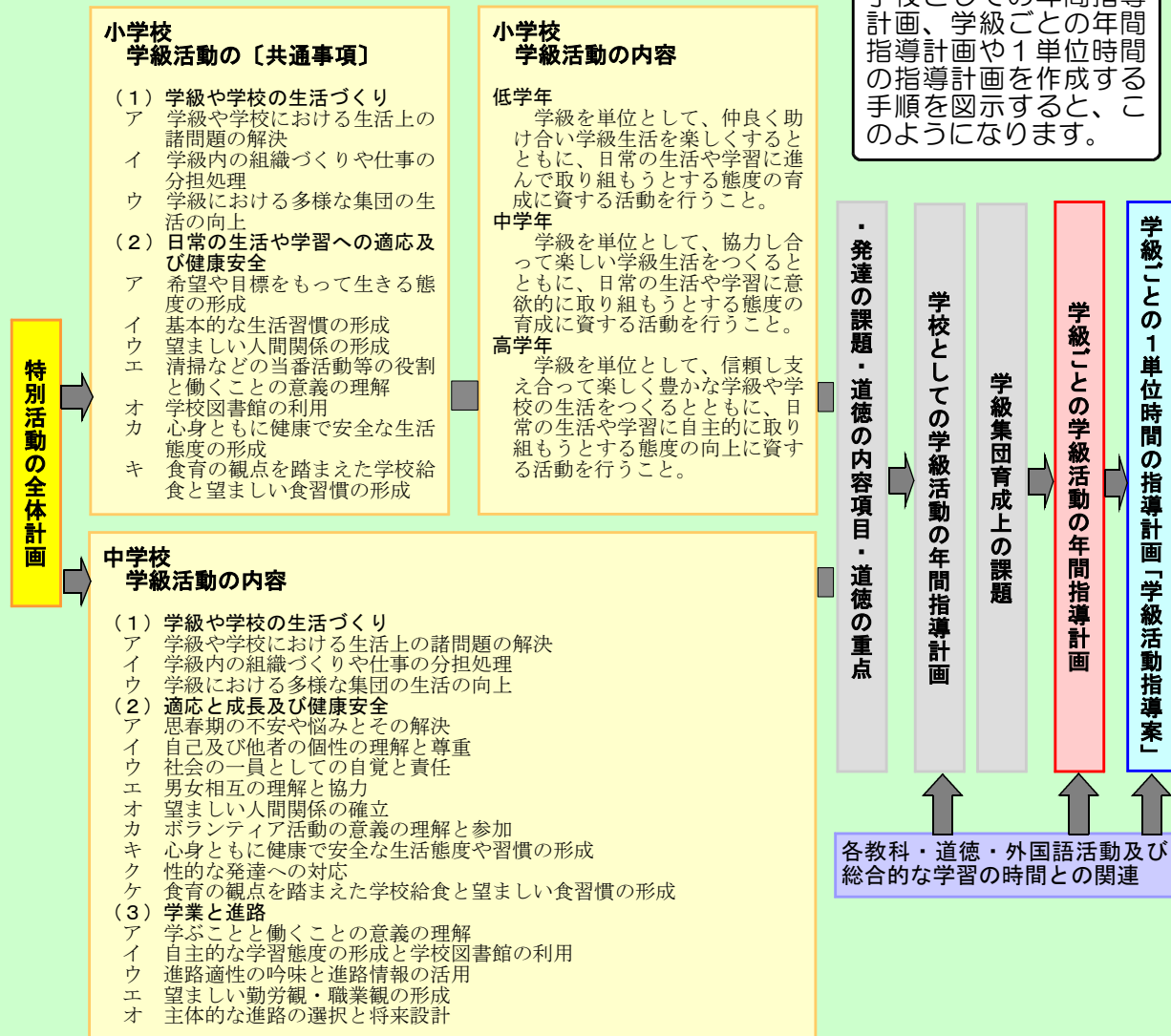
学級における児童生徒の道徳性の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆めあてに向かって前向きに努力する気持ちは強い。</li> <li>◆思いやりをもって行動できる児童生徒が多い。</li> <li>◆生き物に対する興味はあるが、大切にしようとする気持ちが薄い・</li> </ul>	
担任・保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆基本的な生活習慣を身に付け、楽しい学校生活を送ってほしい。</li> <li>◆善悪の判断ができ、自分の言動に責任をもてるようになってほしい。</li> <li>◆生命の尊さを知り、命あるものを大切にしてほしい。</li> </ul>	
学級における道徳教育の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標の達成に向かって最後まで努力する子を育てる。</li> <li>○お互いに励まし合い、助け合う子を育てる。</li> <li>○生命あるものを大切にする子を育てる。</li> <li>○約束やきまりを守り、進んで人のために働く子を育てる。</li> </ul>	
具 体 的 な 計 画	好ましい人間関係を築く方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の問題の早期発見や悩みの相談に努める。</li> <li>・言葉遣いや振る舞い、あいさつや返事など、相手の心を大切にしたい行動がとれるように働きかけ、よりよい人間関係をつくる。</li> </ul>
	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県「教育に関する3つの達成目標」規律ある態度の12の達成目標を身に付けさせる。</li> </ul>
	道徳の時間における指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料提示を工夫し、多様な考え方を引き出す指導を心がける。</li> <li>・思ったことが自由に言えるように、一人一人の発言を大事にする。</li> <li>・自己を見つめる発問の工夫と話合いの深め方を工夫する。</li> </ul>
	道徳性をはぐくむ教室の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことが自由に何でも言える雰囲気や常にかがける。</li> <li>・教室内の整理整頓に心がけ、明るく気持ちのよい教室環境をつくる。</li> <li>・動植物の飼育・栽培を行い、潤いのある教室環境をつくる。</li> </ul>
	豊かな体験活動	第1学期：草花、サツマイモ、動物の世話（動植物への愛護）、交通安全教室（生命の尊重） 第2学期：草花、サツマイモ、動物の世話（動植物への愛護）、運動会、持久走大会（規則の尊重、協力、不撓不屈） 第3学期：古いもの探し（地域の人との触れ合い）、6年生を送る会（感謝の心）
	他学級・学年との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年集会や「レッツトライ」の時間を通して、同学年との交流を図る。</li> <li>・縦割り遊びや集会活動などを通して、異学年の児童との交流を図り、協力性を養う。</li> </ul>
	家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年・学級便り、連絡帳、家庭訪問などを通して、家庭との連絡を密にして相互理解を図る。</li> <li>・道徳の時間の授業公開を実施する。（〇月〇〇日）</li> </ul>
振り返り（反省・改善点）		
第1学期		
第2学期		
第3学期		

2 学級ごとの学級活動の年間指導計画

▶学級ごとの学級活動の年間指導計画

学校として作成した各学年ごとの学級活動の年間指導計画に基づき、学級担任の教師が学年・学級や児童生徒個々の実態及び課題などを考慮して作成する指導計画（学習指

【学級活動指導計画作成の手順】



学級ごとの年間指導計画に示す内容

- 学校や学年、学級の指導目標
- 育てたい力
- 指導内容（予想される議題例、題材名）と時期
- 指導の時間配当
- 指導方法・指導教材
- 特別活動の他の内容（児童・生徒会活動、クラブ活動、学校行事）との関連
- 他教科等との関連
- 評価の観点

※小・中学校学習指導要領解説特別活動編を合わせて表現・順番等を変えてまとめています

学級活動の「学級ごとの年間指導計画」は、学校として作成した各学年ごとの年間指導計画に基づき、学年・学級の実態や学級集団の育成上の課題を踏まえて学級担任が作成する計画であり、児童生徒が作成する活動計画の拠り所となるものです。

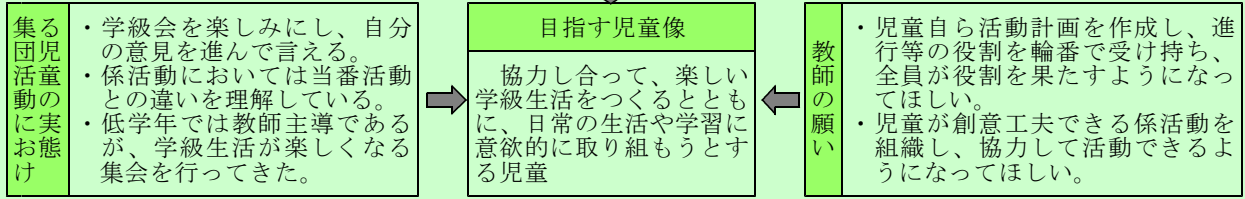
また、学級活動が、児童生徒の学校生活における学習や生活の基盤である学級を単位として展開される活動であることから、学級経営や学年経営との関連を図って作成することが大切です。



【指導計画作成例】（小学校）

平成〇〇年度 第3学年〇組 学級活動 年間指導計画

学級目標 友だちのことを考える子、人の目を見て話を聞く子、みんなと元気に遊ぶ子



手だて 計画委員会を輪番制とし、誰もが司会経験をすることで、協力し合える学級をつくれるようにする。係活動や集会活動に創意工夫できる場を設定し、学習や生活に意欲的に取り組めるようにする。

学期	(1)学級や学校の生活づくり	(2)日常生活や学習の適応及び健康安全
	◇予想される議題例・活動例	○1単位時間で指導 ●短時間で指導
第1学期	<p><b>第1学期の指導目標：「学級のみならず仲良くなろう」（人間関係・協力）</b></p> <p>【話し合い】 年度当初に話し合いの手順や役割について指導し、司会を中心に進められるようにする。                      【係活動】 係と当番の違いを明確にし、教師の助言のもとに学級内での必要な仕事を見つけ、係を設置する。                      【集会活動】 今までの経験を生かしながら、進行や準備を自分たちの手で行えるようにする。</p>	
	<p>◇学級のためあてを決めよう                      ◇「どうぞよろしく」友だちづくり集会をしよう                      ◇3年〇組がもっと仲良くなれる「学級の旗」の使い方を決めよう</p>	<p>○学級目標と一人一人のためあてを決めよう                      ●「友だちと仲良くなれる」あいさつ</p>
第1学期の評価		
第2学期	<p><b>第2学期の指導目標：「協力し合って楽しい学級生活をつくらう」（役割・所属意識）</b></p> <p>【話し合い】 司会等に慣れていない場合には、助言し誰もが出来るようにする。                      【係活動】 簡単な活動計画を作成させ、計画的に係の活動ができるようにする。                      【集会活動】 全員で役割を分担し、誰もが楽しく活動できる活動計画づくりを行う。</p>	
	<p>◇夏休み発表会をしよう                      ◇係のコーナーの工夫をしよう</p>	<p>○第2学期のためあてを決めよう                      ○気持ちのよい言葉遣い</p>
第2学期の評価		
第3学期	<p><b>第3学期の指導目標：「学級の思い出をつくらう」（承認と自信）</b></p> <p>【話し合い】 安易に多数決で決めないようにして学級の総意となるように話し合いを進める。                      【係活動】 要望が出し合える機会を設けたり、係ポストをつくるなどして活動の幅を広げ、活動の様子をみんなが分かるようにする。                      【集会活動】 レクリエーション的な内容のものばかりでなく学級生活の充実や向上に向けた内容を工夫する。</p>	
	<p>◇クラスの思い出に残るお別れ会をしよう                      ◇係活動の発表会をしよう</p>	<p>○男女の協力について考えよう                      ○もうすぐ4年生</p>
第3学期の評価		

【指導計画作成例】（中学校）

平成〇〇年度 第1学年〇組 学級活動 年間指導計画

学期	月	題材及び指導のねらい	活動内容			具体的な活動内容
			(1)	(2)	(3)	
第1学期	4月	中学生になって ○中学校生活の概要を知り、中学生としての自覚を高める。	○	ア		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自己紹介ゲーム等を活用するなどして、和やかな雰囲気づくりを行う。</li> <li>◆事前アンケート「中学校生活への期待、不安」をまとめる。</li> <li>◆グループごとにその解決方法を上級生や身近な人に取材する。</li> </ul>

				◆グループごとに発表し、中学生としての在り方について話し合う。
	<b>学級目標をつくろう</b> ○学級生活への思いや願いを発表し合い、学級としての目標をつくり、学級生活の向上を図る。	○イ		◆事前アンケート「こんな学級にしたい」を実施し、学級活動委員会が学習面、生活面、人間関係等の柱を立てて整理する。 ◆整理された内容をもとに、誰もが覚えやすく、印象に残るキーワードを出し合う。
	<b>学級の組織をつくろう</b> ○理想とする学級像の実現を目指した組織をつくり、自己の向上を図ろうとする意欲を高める。	○イ		◆当番や係、生徒会関連の委員会の一覧表を用意し、参照して目的と活動内容を理解する。 ◆事前アンケート「こんな係をやってみたい」「こんな係があつたらいいな」を行うとともに、上級生の体験を取材する。 ◆学級としてつくる係、当番のローテーションの仕方を話し合う。
	<b>学ぶことの意義を考えよう</b> ○学ぶことの大切さを、自己の向上や将来の生き方と関連して理解し、主体的に学ぶ意欲を高める。		○ア	◆事前に保護者や周りの人に「学ぶことの意義」についてのアンケートを実施する。 ◆将来の生活をイメージさせ、「何のために学ぶのか」について自分の考え方をまとめておく。 ◆班内の意見交換やディベート等で自分なりの考えを発表する。
5月	<b>みんなが楽しい遠足にしよう</b> ○遠足の意義やねらいを明確にさせるとともに事前の活動への意欲を高める。	○ウ		◆帰りの会で、実行委員会から遠足の概要を聞く。 ◆学級としての目標、活動内容、準備等を話し合う。 ◆準備すべきことのリストをつくり、役割分担等をしながら協力して準備を進める。
	<b>テストの準備と受け方</b> ○テストの意義を理解し、家庭での学習の仕方を自分なりに確立しようとする。		○イ	◆上級生の体験談などを通して、テストの意義を理解する。 ◆グループで各教科の効果的な学習方法を調査する。(教師、上級生、級友、家族、地域の方々など) ◆調査結果を発表し合う。 ◆発表内容をもとに自分なりの学習計画を立てる。 ◆教師の助言を聞き、学習計画を見直す。
	<b>学級の問題点を解決しよう</b> ○学級内のよさや問題点に気づき、より一層の学級生活の向上を図る。	○ア	○イ	◆事前アンケート「今の学級のよさと問題点」をまとめる。 ◆アンケート結果から、学級全体で取り組むべきことは何かを話し合う。 ◆具体的な解決策を話し合い、努力目標を立てる。
6月	<b>楽しい給食と配膳の方法</b> ○給食の意義を理解し、楽しい給食の在り方や、能率的かつ衛生的な配膳方法を考え出すようにする。		○ケ	◆給食は楽しく食べられているか、配膳の仕方はどうかなど、これまでの給食の時間を振り返る。 ◆より楽しい給食と配膳の工夫について話し合う。 ◆委員や係、当番として取り組みたい内容を話し合う。 ◆話し合った内容をまとめて、実践内容を決定する。
	<b>個性を生かす方法</b> ○自分のよさを発見し、それを生かし、伸ばしていこうとする態度を育てる。		○イ	◆事前にグループ内の友だちの長所を書く。 ◆各自の長所をグループ内で相互に話し合う。 ◆自分を見つめる時間をとり、自分のよさは何かを考える。 ◆自分のよさを生かし、伸ばすための目標を立てる。
	<b>将来の夢と希望</b> ○それぞれの夢や希望を発表し合い、よりよく生きようとする意欲をはぐくむ。		○オ	◆「私の夢や希望」をまとめておき、発表し合う。 ◆グループごとに、それぞれの夢や希望の実現へのアドバイスをし合う。 ◆アドバイスをもとに今後の自分の生き方について考えを深める。

「道徳教育 学級における指導計画」「学級ごとの学級活動年間指導計画」は、学校の全体計画や年間指導計画を、学級担任が自分の学級の児童生徒のために、さらに具体化したものであり、教師の持ち味を生かした学級経営を行う上での指針となるものです。そこには、学級を担任する教師の願いや自らの個性が発揮されるような計画が作られる必要があります。そして、児童生徒一人一人を具体的に把握し、そのよさを引き出す様々な活動を計画し、実践することが大切です。実践していく中で、児童生徒との様々なかかわりや具体的な教育活動、さらには同僚教師たちとの話し合いによって気付いたこと等を取り入れながら、学級経営をより魅力的なものにしていきましょう。

